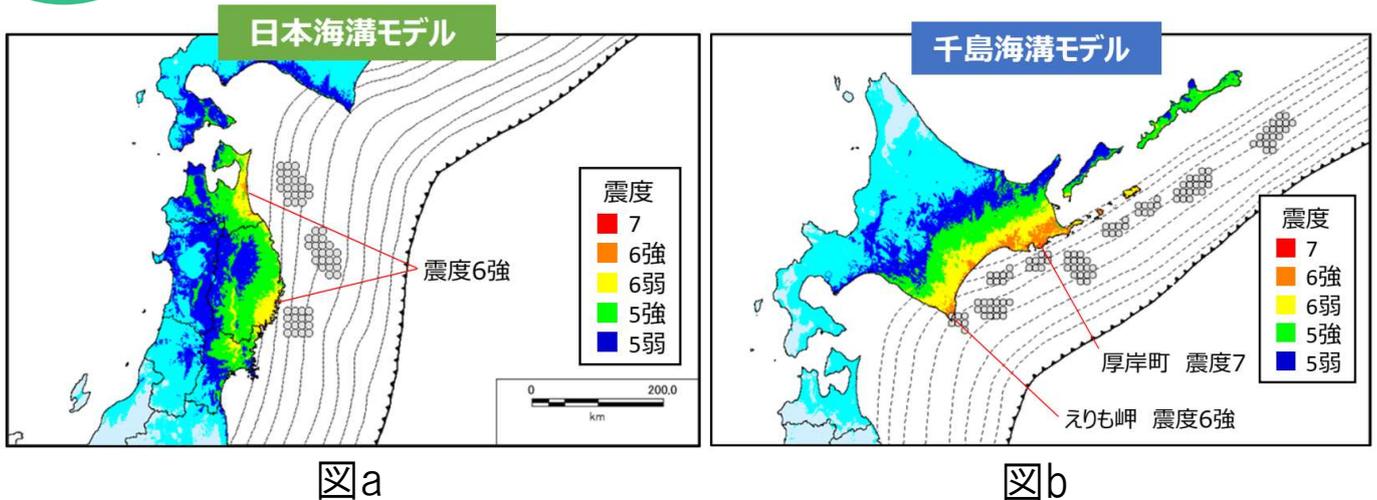




日頃から防災対策や備えの重要性を国民一人一人が認識し、いざその時に迅速かつ適切な対応ができる社会の構築を目標に、減災活動についての情報を提供してまいります。

## 被害想定

### 日本海溝・千島海溝周辺 海溝型地震 内閣府 中央防災会議(2021年12月21日)が発表



内閣府から、日本海溝・千島海溝で想定される最大クラス(M9クラス)の地震・津波の検討結果が発表されました。これによると、震度分布図(図b)に示すように北海道厚岸町付近では最大震度7の揺れが想定されます。

人的被害については、最悪の場合、死者は10万人から19万9000人に達すると推計されています。このような被害を減らすためには、津波避難施設の整備や避難先の確保を進め、防災意識を持って備え(保護具・防寒具、食料、貴重品の管理)を行い、耐震性のある建物を増やしていくことが必要であるとされています。これらの対策の実行により、犠牲者のおよそ80%を減らすことができると想定されています。一人一人の防災意識の向上や対策がいかに重要であるかを感じます。

経済的な影響は全国に及ぶと想定され、被害想定額は日本海溝で31兆3千億円、千島海溝で16兆7千億円とされています。北海道では多くの農産物が生産・加工されているため、生産地や工場の被災、道路・鉄道などの復旧の遅れ、停電・燃料不足などにより、被災地以外の地域でも食料品や生活必需品の不足が深刻化するとされています。東日本大震災時の買占め・品不足・価格の高騰が思い出されます。

参照：内閣府 防災情報のページ

[http://www.bousai.go.jp/jishin/nihonkaiko\\_chishima/WG/index.html](http://www.bousai.go.jp/jishin/nihonkaiko_chishima/WG/index.html)

引用：

[http://www.bousai.go.jp/jishin/nihonkaiko\\_chishima/WG/pdf/211221/shiry05.pdf](http://www.bousai.go.jp/jishin/nihonkaiko_chishima/WG/pdf/211221/shiry05.pdf)

## 教訓 備え

北海道で最近発生した大きな地震としては、平成30年北海道胆振東部地震（2018.9.6）があり、この地震により約40名の尊い命が失われました。

プレート内で発生した地震であったため津波被害はありませんでしたが、発電所が止まったことで道内全域が大規模停電「ブラックアウト」に見舞われ、99%復帰するのに約50時間を要しました。真冬ならばさらに深刻な状況にもなりかねませんでした。

被災地の方々を対象に行った住民アンケートの結果で、「避難しなかった方が特に困ったこと、不安に感じたこと」として「①灯り、照明の確保」「④災害情報の入手」が挙げられていたのは、この地震災害の特徴を表したものといえます。

地域の避難所情報の確認、停電に備えて懐中電灯・乾電池・携帯ラジオなどの動作を確認するなど、地震後の二次災害に遭わないよう、家族で事前に話し合っておくことの重要性を再認識しました。地震後の行動を一つ間違えると、その後の生活に困窮するだけでなく、命を落とす可能性もあります。

我々は、一人でも多くの命と生活が守られる社会が持続するよう、地震災害を軽減するためのソリューションを提供しております。

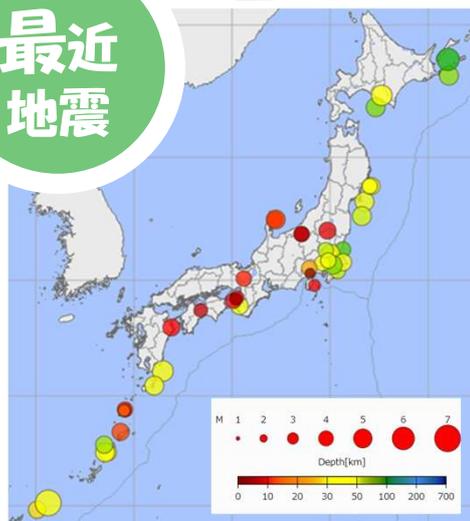
その一つとして、地震後数か月かかっていた保険金の支払いを数日に短縮して受けられる企業向け地震保険の提供を、スイスリー保険様が昨年開始しました。この保険に、気象庁検定に合格した弊社の小型地震計(右図)が採用されています。

小型地震計ACCURA



詳細情報：<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000002.000082924.html>

## 最近 地震



2021年12月16日～2022年1月15日までの1か月間の日本全国での左図に表示した震度2以上の有感地震は49回にもおよびました。

- ・震度5強：1/4 父島近海
- ・震度4：12/26 宮古島近海

特に父島近海の地震では小笠原村で最大震度5強の強い揺れが観測されました。2015/5/30小笠原諸島西方沖の地震以来5年半ぶりです。

紀伊半島から四国・九州・沖縄・台湾と南海トラフに沿って震源が分布しており、1/22には日向灘でM6.6、最大震度5強の地震も発生しました。

参照：気象庁 震度データベース検索による  
<https://www.data.jma.go.jp/svd/eqdb/data/shindo/>

## 会社 情報

### 応用地震計測株式会社

Information：減災クリエイター OYOS・I TEAM防災士

〒336-0021 埼玉県さいたま市南区别所 7-14-37

TEL：048-866-1228 FAX：048-829-9982

E-mail：marketing@oyosi.co.jp 会社HP：<http://www.oyosi.co.jp>

